

令和4年度 第6回牧区地域協議会 次第

日時：令和4年8月23日（火）
午後6時30分から
会場：牧区総合事務所301会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 報告事項

- (1) 「（仮称）地域独自の予算」の概要（案）について・・・・・・・・・・資料No.1

4 協議事項

- (1) 令和4年度牧区地域協議会委員視察研修について・・・・・・・・・・資料No.2

- (2) 地域活性化の方向性について・・・・・・・・・・資料No.3

5 自主的審議事項

- (1) あらゆる人が安全・安心に住み続けたい「牧づくり」について
① 令和5年度予算要求「（仮称）地域独自の予算」予定事業について資料No.4
② グループ討議・・・・・・・・・・資料No.5

6 その他（連絡事項）

- ・牧区市営バスの新たな運行について等（地区懇談会資料）
- ・吉川区地域協議会からの意見書提出について

7 閉 会

- ・次回（第7回牧区地域協議会） 月 日（ ） 時 分～

「(仮称)地域独自の予算」の概要(案)

1 「(仮称)地域独自の予算」をつくる背景、目的

- 上越市は、広い面積の中に、多くの山々や長い海岸線、豊かな水田、利便性に優れた市街地などがあり、地域ごとに育んできた歴史や文化なども様々です。
- この多様性は当市の魅力ですが、人口減少や少子高齢化などが進む中では、地域の活力を保つことが次第に難しくなっています。
- このような中、それぞれの地域の課題を解決し、活力の向上を図るためには、全市的な取組に加えて、地域の実情にあった取組を更に実現していくことが必要と考え、「(仮称)地域独自の予算」をつくることとしました。

2 「(仮称)地域独自の予算」で大切にしたいこと

- その1 地域住民の皆さんが、住み続けていく上で誇りや愛着を持ち、生活の満足感や質を高めていけるようにしたいと考えています。
- その2 地域と市が一緒になって、地域資源の活用や地域住民の皆さんの連携が深まるようにしたいと考えています。
- その3 地域の団体や地域協議会が取組を提案できるとともに、地域住民の皆さんに身近な機関である総合事務所やまちづくりセンターが、木田庁舎の各課等と同じように予算を要求できるようにしたいと考えています。



3 「(仮称)地域独自の予算」のポイント

※「総合事務所等」には、まちづくりセンターを含みます。

(1) 対象とする取組（「(仮称)地域独自の予算」で実現したい取組）

① 地域資源を活用した新たな収入源や雇用の創出等につながる取組

特産品開発、販売促進、就業促進、交流人口増など

【取組のイメージ】

- 地元の道の駅や青空市場等で販売する農産加工品（レトルト、漬物、ファストフード等）の開発・製造・販売
例 妙高市長沢地区「手作りこんにやく」
富山県南砺市「いもがい餅」（里芋入りおはぎ）
- 地元の森林や耕作放棄地を活用した、大都市部をターゲットにした苔や山菜の栽培・販売
例 島根県江津市「ごうつコケプロジェクト」
岐阜県郡上市「山菜王国郡上づくり構想」
- 地元の食材と施設を活用した、自然食を提供するレストランや農村レストランの運営
例 広島県神石高原町(じんせきこうげんちょう)「自然食レストラン高原の風」
三重県多気町(たきちょう)「せいわの里まめや」
- 地域の農作業と食品製造事業等の組み合わせ、集落農業の受け皿、空き家の模様替え・転貸などのビジネスモデルによる地域課題の解決と新たな雇用の場の創出（人口減少対策）
例 清里区「星の清里協同組合」
島根県邑南町(おおなんちょう)出羽(いずわ)地区「合同会社出羽」
- 地域の歴史的資産、自然資産等を活用した集客・観光の創出
例 頸城区「くびき野レールパーク公開及び枕木交換事業」（地域活動支援事業）
中郷区「二本木駅を核とした地域活性化事業」（地域活動支援事業）

② 地域での暮らしやすさにつながる助け合い等の取組

生活支援、郷土愛の醸成、人材育成 など

【取組のイメージ】

- 移動サービスと日用品小売店（日用品供給事業）を組み合わせた高齢者の外出支援
例 岩手県北上市口内町(くちないちょう)地区「店っこくちない」
十日町市仙田地区「道の駅 瀬替えの郷せんだ」
- エネルギー供給の拠点となるガソリンスタンドの経営引継ぎ
例 高知県四万十市大宮地区「大宮SS」、宮城県丸森町筆甫(ひっぽ)地区「筆甫SS」
- 地域の自然環境等の活用・保全や、地域の生活拠点に活気を生み出す事業
例 金谷区「滝寺自然公園整備と環境保全・保護活動」（地域活動支援事業）
名立区「名立駅マイ・ステーション作戦事業」（地域活動支援事業）
- 地域づくりの実現や新たな取組の創出に向けた人材の研修や視察の実施、災害に対する備えと互助の精神を学ぶ講演会の開催
例 大島区「大島地区活性化ビジョンの実現に向けた視察研修事業」（地域活動支援事業）
三和区「東日本大震災にまなぶ事業」（地域活動支援事業）
- 区内多くの住民の参加が見込まれ、地域の連帯感醸成が期待される地域のイベント、偉人の顕彰
例 高士区「ふるさと高士まつり」（地域活動支援事業）
大湊区「小山作之助の功績を称える事業」（地域活動支援事業）

対象としない取組

- ・新たな公の施設や市道などのインフラ整備
- ・単なる備品の購入・設備の設置など、地域の活動が伴わない取組
- ・公の施設の建設や修繕、新たな土地利用・行政サービス等を市に求めるために行う取組
- ・地域の住民や団体へ現金・金券などを配る・貸す取組
- ・政治活動・宗教活動を目的とする取組
- ・公序良俗に反する取組 など

(2) 予算の上限額や取組の終期

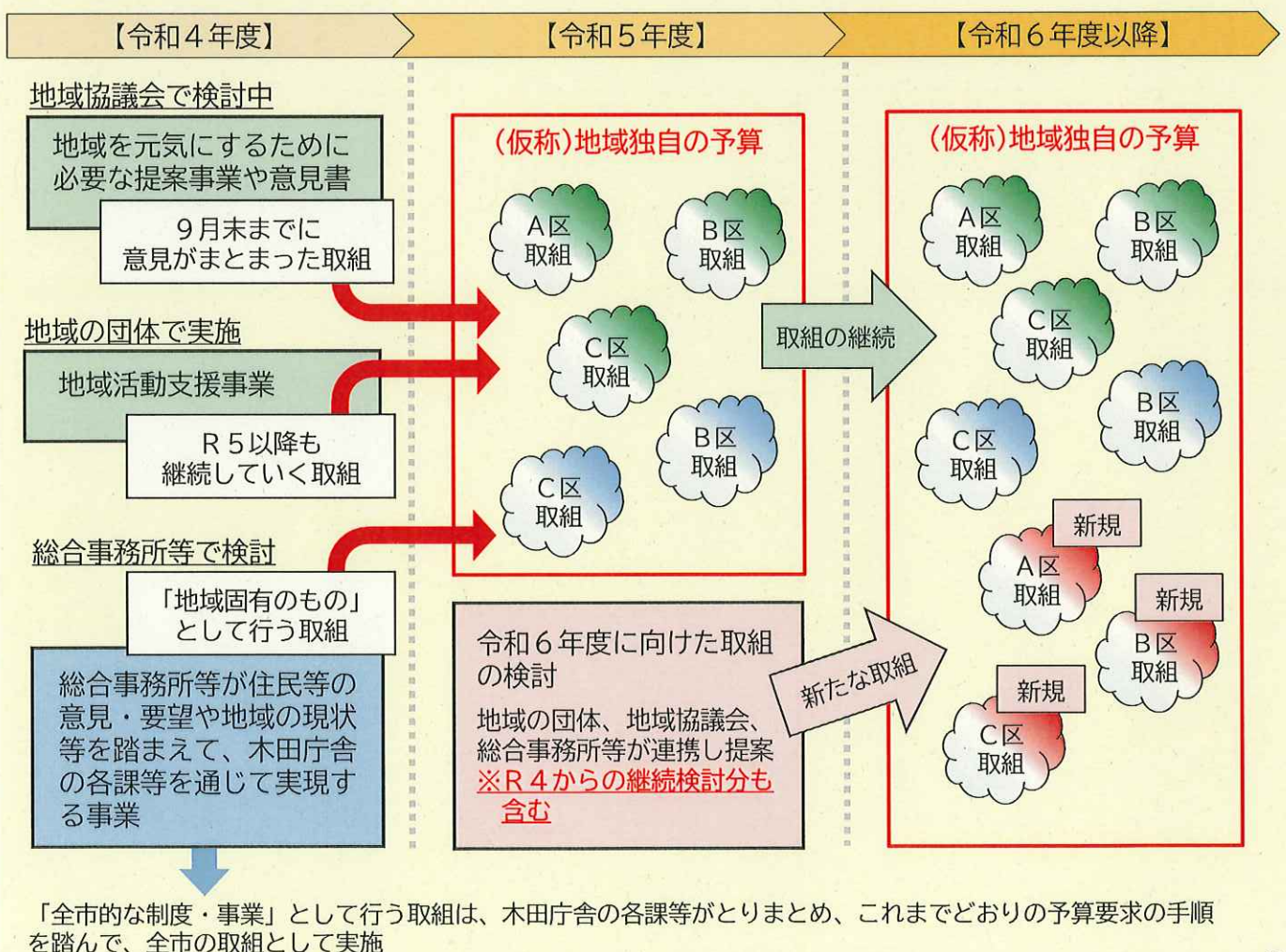
① 上限額

- ・原則、地域自治区ごとの取組件数や金額、また、1件当たりの金額の上限額は設けません。
※予算化に当たっては、実現したい取組に対して真に必要な額を精査していきます。
- ・地域の団体に対して市が補助金を支出する場合は、補助率の上限を7/10とします。ただし、これまで地域活動支援事業を活用してきた取組のうち、左記(1)①・②に該当する取組は、令和5年度予算での補助率の上限10/10とし、令和8年度までに段階的に上限を7/10に見直します。

② 「(仮称)地域独自の予算」で実現する取組の終期

- ・終期は設けませんが、取組は4年ごとに取組成果を振り返り、今後の公費支出の可否や実施方法などの取扱いを改めて見直します。
※例 令和5年度から継続していく取組は、8年度に見直します。
※予算化する取組は、複数年度の継続を見込む取組であっても、毎年度、市議会での予算案の議決を要します。

◎ 「(仮称)地域独自の予算」でつくり上げる予算のイメージ図



(3) 予算ができるまでの流れ

① 取組の提案

- ・ **地域の団体や地域協議会は、希望に応じて、総合事務所等に取組を提案**します。
※提案された取組は、市の予算査定や市議会での予算案の議決を経て最終的に予算化されることから、提案されたことをもって、取組の実現を約束するものではありません。
※総合事務所等も取組を提案します。

② 関係者による取組案の具体的な検討

- ・ **提案者が中心となり、関係する団体や総合事務所等と互いに連携しながら、取組の実現に向けて調査・検討**します。

- **地域の団体が提案し、自らの団体や総合事務所等が実施主体となる場合**、地域の団体は総合事務所等とともに調査や検討を行います。また、他の団体に取組の一部をお願いする場合、地域の団体は総合事務所等と話し合い、関係する団体に調査や検討に加わるよう総合事務所等と一緒に働きかけます。
- **地域協議会が提案する場合**、地域協議会は関係する地域の団体や総合事務所等とともに、調査や検討を行います。
- **総合事務所等が提案する場合**、総合事務所等は取組に関わる地域の団体に調査・検討に加わっていただくよう働きかけます。

- ※ 調査や検討の内容により、木田庁舎の各課等も連携や実務を担います。(次の③も同じ)
- ※ 総合事務所等は、適宜、地域協議会と情報共有していきます。

③ 予算要求

- ・ **総合事務所等は、予算の原案をつくり、財務部に要求**します。
※15区では、まちづくりセンターの体制を考慮し、自治・地域振興課がとりまとめて要求します。
※地域の団体は、総合事務所等と連携しながら次年度の取組実施に向けた準備を始めます。

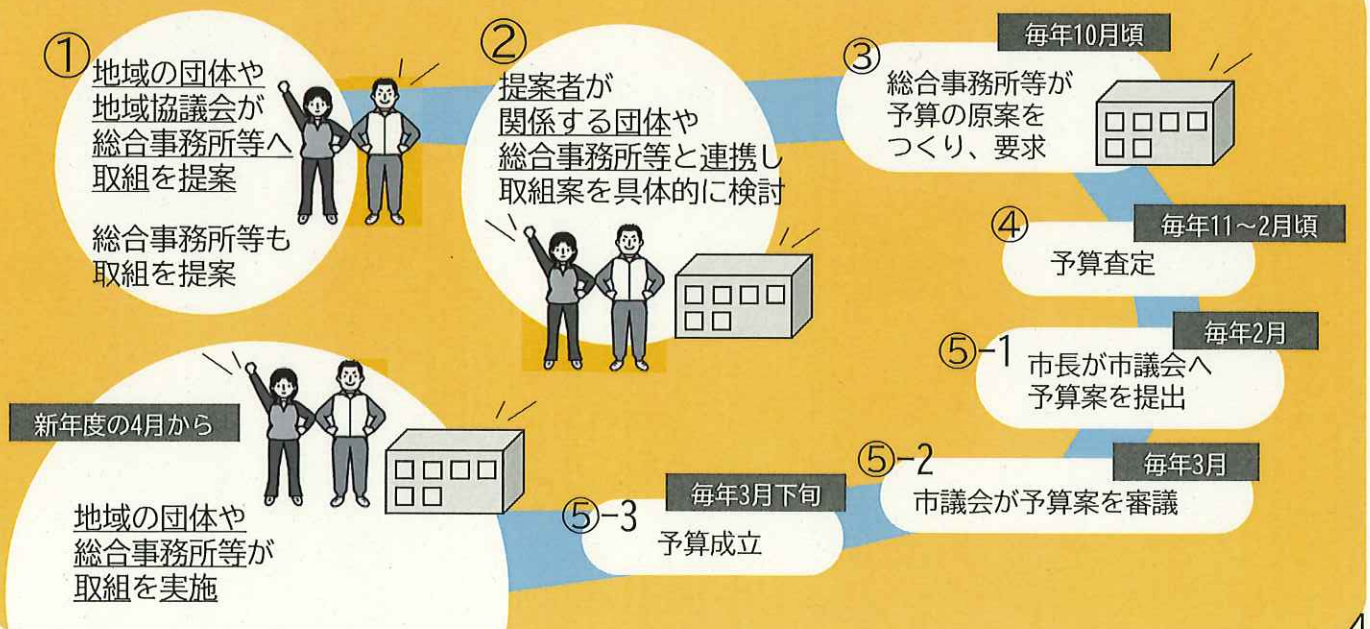
④ 予算査定

- ・ 予算要求後は、財務部を中心とした協議を経て、**最終的に市長が予算案への計上の可否を決定**します。

⑤ 市議会へ予算案を提出 → 市議会の予算審議 → 予算成立

- ・ **市長が市議会へ予算案を提出**し、**市議会が予算案を審議**します。

「(仮称)地域独自の予算」ができるまでのイメージ(令和5年度予算案から実施)



資料No. 2

視察研修についての要望調査（集計結果）

1 視察研修の実施時期

9月、10月（中旬・下旬）、11月

2 視察先（※順不同）

	テーマ	視察先	研修内容
1	災害復興とまちづくり	糸魚川市 復興まちづくり情報センター	・糸魚川市駅北大火からの復興支援の在り方 ・復興にとどまらない地域活性化の在り方
2	—	地域おこし協力隊の活躍している地域	・活動内容
3	市長（副市長）との フリートーク	—	・地域協議会委員として、市長（副市長）との意見交換
4	中越地震復興と まちづくり	山古志地区	・一斉避難等、大変な目にあったか？ ・現在どのような地域活性化が図られているか？
5	岩の原のぶどうづくり	上越市 北方	・新たなぶどう栽培
6	山菜の振興	十日町市 松代地区	—
7	板倉区での地滑りに ついて	上越市 板倉区	避難住民への対応や復興対応
8	—	津南町	日本有数の豪雪地のまちづくり
9	古民家再生	十日町市 松代地区	・古民家再生の成功例を研修
10	住民のカフェ	くるみや	・地域住民が集うカフェの実情を研修
11	子どもからお年寄りまで安心して生活できる牧区づくり	—	・高齢者が生きがいをもって生活できる方法 ・子どもたちがあふれる牧区にするための手立て
12	高齢化への対応	群馬県 南牧村	「高齢化日本一」で「消滅可能性が最も高い村」の再興の様子
13	人口減への対応	山梨県 小菅村	人口700人の村がタイニーハウス（小さな家）などのアイデアを全国から募集して活性化を図っている様子
14	住民とNPOの協力による 地域づくり	上越市 桑取	移住した若者と住民でNPOをつくり、失われかけた伝統技術を継承して山里の豊かさを生み出す様子

3 過去の視察地（参考）

年 度	視察先	研修内容
令和3年度	未実施	(※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)
令和2年度	・地域活動支援事業実施箇所 ・危険箇所及び公共施設	地域活動支援事業実施箇所の視察 等
令和元年度	・陸上自衛隊高田駐屯地 ・直江津LNG基地	災害発生時の対応について 等
平成30年度	・中郷区まちづくり振興会 ・上越市議会事務局 ・上越市 自治・地域振興課	・中郷区まちづくり振興会の取組説明 ・議場見学 ・上越市地域協議会の現状説明・意見交換
平成29年度	・牧区内危険箇所 ・十日町市池谷集落 (NPO法人地域おこし)	・区内の災害発生箇所や危険箇所の現地視察 ・少子高齢化が進んだ地域の集落維持の方策
平成28年度	未実施	-
平成27年度	長野県飯山市	空き家対策、新幹線駅開業に伴う観光動向
平成26年度	長野県佐久市	ぴんころ運動推進事業 等
平成25年度	長岡市	まちなかの駅、指定管理者制度 等
平成24年度	富山県南砺市	棚田オーナー、地域おこし協力隊 等

「地域活性化の方向性について（集計結果）」

《作成目的》

- ・地域協議会による地域の活力向上に向けた議論を進めるに当たり、委員間の認識の共有はもとより、地域協議会と市の認識の共有を図る。
- ・「地域のお宝探し」として、牧区において今後も残していきたいこと、大切にしたいことなどを把握する。

《内容》

- ・幅広い分野（地域資源・産業・観光・農業・自然・風土等）の中から、牧区の特徴や特質について

【お米】

- ・うまい米が取れる地域である、中山間地ならではの米（ねばりがおいしい）
- ・宮口古墳周辺の草刈りが行き届いた米づくり

【水】

- ・水が豊かである（地域資源）
- ・牧区のおいしい水（地域毎に集落水道があれば）
- ・どこよりもうまい水道水
- ・県境に降ったたっぷりの雪がブナ林にしみこんだとてもおいしい自然水

【山菜・薬草】

- ・おいしい山菜（灰汁が少ない）
- ・山菜が豊富（加工して販売できるのでは？）
- ・山菜取りツアー（自然にふれる楽しさを知ってもらう）
- ・牧区には薬草が多い（利用できると思う）
- ・山菜、薬草（ぜんまい、ウド、フキ、ウワバミソウ、ヨモギ、ドクダミほか）

【人情】

- ・住民の言葉がやさしい、人情味あふれる人たち（やさしく、あたたかく、仲良く）

【深山荘】

- ・深山荘は心地よい時間が過ごせる
- ・深山荘は生き残っている（いける）（観光）
- ・大自然の中の宿泊施設（深山荘）（いやしの場になる）

【棚田】

- ・ 区内そこかしこにある棚田や山林などの風景
- ・ 牧区内の全棚田

【産業】

- ・ (産業) 頑張ればリーダーになれる
- ・ 原地区を中心とした油田 (歴史施設等)
- ・ 農業、牧農林業公社を中心として牧区の農地を集約、保守する
- ・ 後継者がいない悩みの解決

【観光資源】

- ・ (地域資源) 地域ごとにお宝がある (例 岩神城)
- ・ 雪太郎大根 (加工品 (切干し)、市内全域の学校給食にも)
- ・ ごんぞとばしの継承 (70 歳以上の知恵を借りて、牧区の特産物にしても良い)
- ・ 信越トレイルは大切にしたい (自然観光)
- ・ 牧峠の渡り鳥 (全国で 3 カ所の通過点、写真撮影)
- ・ 秘湯 (鷹場温泉)

【自然・風土】

- ・ 四季がはっきりしている
- ・ あまり他の人を気にしないで生活できる (風土)